

第7回 広島県ユネスコ ESD×SDGs 大賞

ESD (*Education for Sustainable Development*) は、平和で持続可能な社会の構築を目指し、日本政府が提案、国連決議を経てユネスコが主導する未来世界に向けての価値と行動を学ぶ活動です。

SDGs (*Sustainable Development Goals*) は、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

ユネスコスクールは、文部科学省により、ESDの推進拠点と位置付けられていて、ESDはSDGsの17全ての目標の達成の鍵とされています。

そこで、ESDとSDGs、ユネスコスクール活動の向上を支援するため、広島県内の小中高等学校等、専門学校、大学並びに民間活動団体の中から、ESD×SDGs・ユネスコスクールの普及・推進に関わる優れた活動を顕彰します。奮ってご応募いただきますようお願いいたします。

主 催 広島県ユネスコ連絡協議会

共 催 広島大学教育学部、同学部ユネスコスクール委員会、

広島県ユネスコスクール連絡協議会

協 力 広島ユネスコ協会、宮島ユネスコ協会、東広島ユネスコ協会、尾道ユネスコ協会、因島ユネスコ協会

後 援 (申請予定) 団体

広島県教育委員会、広島市教育委員会、東広島市教育委員会、日本ユネスコ協会連盟、中国新聞社、中国放送

助 成 広島県共同募金会

募 集 要 項

1. 応募対象の活動テーマ

ESD×SDGsの視点を取り入れた国際理解、国際協力、多文化共生、環境、平和、人権、防災、地域づくり等に関する「地球憲章」の趣旨に沿った取り組み。なお、実施年度は問いません。

2. 募集部門

- (1) 小・中学校等部門：ESD×SDGs 推進に取り組んでいる小中学校等の実践。グループによる ESD×SDGs 授業開発も含みます。
- (2) 高等学校等部門：ESD×SDGs 推進に取り組んでいる高等学校等・専門学校・大学の実践。グループによる ESD×SDGs 授業開発も含みます。
- (3) 社会部門：持続可能な社会づくりに寄与する活動を行う団体、および地域の学校と協働して活動する団体の実践。
- (4) 個人部門（学校部門と社会部門）：各学校や団体等において、個人が ESD×SDGs 推進の取り組みを進めている活動や実践。
- (5) 地域ユネスコ部門（学校部門と社会部門）：持続可能な社会づくりに寄与する活動を行う学校、団体、および地域の学校と協働して活動する団体の実践。

3. 賞

部門ごとの大賞，並びに広島大学教育学部長賞（5つの部門をとおしてとくに優れた取組）

4. 応募に当たっての提出物（複数部門同時に応募可）

所定の応募用紙（3頁以内にお収めください。メール，あるいは，郵送でファイルをお送りください。実施報告書や指導案も，郵送で添付できます。）

5. 応募締め切り 2021年10月15日（金）（必着）

6. 応募先／お問い合わせ先

所定の応募用紙（<http://unescohp.hiroshima-u.ac.jp/>：広島県ユネスコ連絡協議会のホームページからダウンロード・印刷できます）に所定事項を記入の上，印刷した応募用紙とそのファイルを，「広島県ユネスコESD×SDGs大賞」事務局に郵送してください。

〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1 広島大学教育学部

広島県ユネスコ連絡協議会「広島県ユネスコESD×SDGs大賞」実行委員会事務局

（担当：永田忠道・渡邊巧）

HP: <http://unescohp.hiroshima-u.ac.jp/>

メールアドレス unescohp@hiroshima-u.ac.jp

電話（直通） 082-424-7070 / 7130

ファックス 082-424-7070

（なるべくメールでお問い合わせください。）

7. 審査

有識者で構成する審査委員会で行います。

8. 表彰式とプレゼンテーション

日時：2021年12月11日（土）午前（予定）

会場：広島大学教育学部（オンライン開催の可能性あり）

受賞者へのお願い：上記日程での表彰式にご参加していただくとともに，10分以内のご発表もおねがいたします。

部門ごとの期待されるテーマや内容（補遺）

(1) 小・中学校等部門

学習指導要領に盛り込まれた持続可能な社会づくり（構築）の学習に関わる授業開発

(2) 高等学校等部門

学習指導要領に盛り込まれた持続可能な社会づくり（構築）の学習に関わる授業開発

(3) 社会部門

団体が中心となって，または，地域の学校と協働して，児童・青少年を対象にした平和で持続可能な地域社会づくりに寄与する能力形成を目指すプロジェクト

(4) 個人部門（学校部門と社会部門）

各学校や団体等において，個人がESD×SDGs推進の取り組みを進めている活動や実践

(5) 地域ユネスコ部門（学校部門と社会部門）

県内5地域ユネスコ協会からの推薦による活動や実践